

新庁舎建設基本設計に対する意見及び回答

ホームページへの公表内容

意 見	市 の 考 え 方
<p>新庁舎の植え込みをお茶の木にしてはどうか。</p>	<p>今後の検討課題とさせていただきます。</p>
<p>総工費が大きすぎませんか。初めの案ではもっと小さかったような気がします。特例債が使えるから建てるかと理解していました。しかし、1/3にしかないのなら止めたらどうですか。それとも33億円が総工費には無関係に使えるというのであれば、その範囲にしたらいかがですか。箱物は大きいと後々維持費も高くつくことですし。</p>	<p>今の庁舎は老朽化が進み庁舎として使用するには向こう20年の間には建て替えか大規模な改修が必要となりますが、自主財源での整備が原則であり、国の補助メニューはありません。したがって合併特例債を最大限に活用し市の財政負担軽減を図ります。</p>
<p>敷地内にテナント棟はいりません。現時点で業者の当てがあるのかもしれませんが、私企業ですから自社の都合で撤退します。空き店舗が目立てば市役所全体が寂れた感じになり、建物の維持管理の負担だけが残ります。業者を誘致したければ「にぎわいの森」を縮小して用地のみ確保し、土地の賃借とすれば良いと思います。</p>	<p>「にぎわいの森」は出店者のみの利益を追求したビジネスの場ではありません。農・食・自然といったいなべの魅力を活用する高い技術を持つ店舗や、市内外の志を持った人々が集う交流の場であり、いなべの強みを活かした新たな価値を創造する場です。貸付期間、貸付料、管理費等は今後、出店者との協議により決定します。</p>
<p>議会棟は行政棟と一体の免震構造にし、防災拠点としての役割を果たせるようにするほうが工費も安く、機能も充実するのではないか。(斎場との間も広がる)</p> <p>保健センターは災害時の救急センターの機能もあるので、免震構造にするのが良いのではないか。(建設費が高くなっても必要などころには使うべき)</p> <p>説明会では「他の自治体の庁舎と比較し予算規模が大きすぎると思うがどうか」という質問もあった。市長が理想や夢を語る気持ちはわからないでもないが、市民への説明があまりにもずさんで無計画なのでがっかりした。予算(血税)は 堅実に大切に使っていただきたい。</p>	<p>周辺地域の景観への配慮や、機能別の建物設置による利用者動線の明確化のため、低層分棟方式を採用します。分棟方式とすることにより、免震構造の選択的採用が可能となり、災害対策拠点となる行政棟については、地震などの大災害時においても行政機能の継続性を確保する必要があるため免震構造を採用します。</p>

新庁舎建設基本設計に対する意見及び回答

ホームページへの公表内容

意 見	市 の 考 え 方
<p>1. 菰野町の「アクアイグニス」が成功している状況で、何故これほどの税金をかけて新庁舎建設・にぎわいの森を建設する必要があるのか。</p> <p>2. 魅力のあるレストラン等の出店となっているが、それだけでは観光のみであり、現状の少子高齢化問題には対応できない。もっと住民主体のまちづくりをしていくべきだ。新庁舎建設では高齢化問題は解決しない。今住んでいる住民をもっと大切にすべきだ。新庁舎建設でどのような効果があるのか。試算した結果はあるのか。</p> <p>3. 現在の庁舎はあと何年使用できるのか。修繕して使用するといくらかかるのか。</p> <p>4. 今の計画のまま税金を使えば、未来に「つけ」（借金）を残す。少子化が進む中、子ども世代のつけは、ますます大きくなる。いなべ市だけでなく、日本全体が人口減少社会になる中で、果たして2060年になっても持続可能なのか。国民健康保険や介護保険の保険料がさらに高くなることが予測される中、本当に必要と考えるのか。今の建設費を現在のいなべ市人口で割ると、一人当たりの負担額はいくらか。</p> <p>5. 既存の阿下喜温泉は本当に魅力ある活用なのか。にぎわいの森を新たに建設する前に、梅林公園・阿下喜温泉等さらに魅力のある場所に変えられる場所もあり、有効活用したらどうか。</p> <p>借金が大きくなれば、子育て世代は住まずに、もっと交通の便のよい教育を受けられる地域に住むだろう。</p>	<p>貴重なご意見を参考にさせていただきます。</p> <p>今の庁舎は建設後30～40年が経過しており老朽化が進んでいます。庁舎として利用するには向こう20年の間には、建て替えか大規模な改修が必要となります。</p> <p>そこで合併特例債や交付金事業等を活用し、現在分散している4庁舎の機能を統合した新庁舎の整備を進めることとしています。</p> <p>また、既存の施設の梅林公園・阿下喜温泉等をさらに魅力ある場所とする取り組みとあわせて、にぎわいの森を整備し、新たな価値が提供できる場を整備すれば都市との交流も広がり、さらにいなべ市が活性化すると考えています。</p>